

福島県酪農業協同組合 第22回通常総会が開催される



第二十二回通常総会は、去る六月二十五日に郡山市日和田町「福島県農業総合センター」に於いて八一名の本人出席のもと開催されました。平成二十六年年度事業報告並びに平成二十七年年度事業計画の設定、第六次中期経営三カ年計画の設定について他、付帯決議を含めた提出十一議案は原案通り承認されました。

総会開催に先立ち、酪農ビジョンのスローガンを福島県酪農協青年部の佐藤正仁会長

の発声に続き、全員により声高らかに唱和を行いました。

通常総会は、但野組合長より出席いただいた組合員、行政、関係機関、来賓の方々への出席の御礼と常日頃の指導、協力に対する感謝を申し上げる挨拶から始まり福島県農林水産部長様（代理…県中農林事務所長 浅野裕幸）、全国酪農業協同組合連合会長様（代理…常任監事 肥後俊二）、東北生乳販売農業協同組合連合会長様（代理…代表理事専務 伊藤 強）、福島県農業会議会長様（代理…事務局長 河嶋 耕）より来賓祝辞を頂きました。

組合長挨拶のなかで、酪農を取り巻く環境は厳しい状況に置かれている。外部要因としての輸入乾草の高止まり、内部要因として原発事故の影響、四年三カ月経過した今でも払拭されておらず、未だに経営再開できない状況にあること。第二号議案で、第六次中期経営三カ年計画を提案してお

り、飼料確保、頭数確保のために畜産クラスター施策を有効活用し酪農経営の安定を図り、原発事故からの早期回復を皆さんとともに目指してまいりたい。計画達成には組合員、役員をはじめとする組織、子会社である酪王乳業、らくのう乳販の三者が一致協力したときにこそ大きな力になって前進が計れるものと確信していると挨拶がありました。

二十六年度は高齢化等による廃業、出荷先変更等の影響により約四六〇〇トンの受託乳量の減少、前年比九〇・八%であった。当期剰余金は約一千二百万円であり、組合の健全経営のため一千万円を内部留保に積立させていただくことをご理解願います。



福島県酪農協酪農ビジョンスローガンを読み上げる
県酪農協青年部 佐藤 正仁 会長



議長を務める芳賀 登 氏

第六次中期経営三カ年計画は、福島県酪農の新たな出発となるようなプランとして酪王乳業（株）、（株）らくのう乳販と連携し、将来にわたって組合員の負託に応え得る組織として、酪農家と組織、酪農家と職員、酪農と社会のそれぞれの「つながり」をキーワードとして策定しました。

第二号議案で承認されました『第六次中期経営三カ年計画』の取組の初年度として「東電原発事故からの復興対策と力強い酪農経営基盤の確立」、「第六次中期経営三カ年計画の推進」、「牛乳乳製品の風評被害払拭と消費拡大対策の推進」の事業推進重点実施事項の三項目を基本に事業を展開してまいりますので、組合員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

『第六次中期経営三カ年計画』承認される

『福島県酪農協・酪農ビジョン』基本方針

1. 消費者との絆を大切にし、地域と共生する酪農を目指します。
2. 組合員との絆を強固にし、所得向上と生産基盤充実のための支援をします。
3. 酪農と地域を支える組合経営を目指します。

『事業推進重点実施事項』

1. 東電原発事故からの復興対策と力強い酪農経営基盤の確立
2. 第六次中期経営三カ年計画の推進
3. 牛乳乳製品の風評被害払拭と消費拡大対策の推進

『TPP交渉に関する決議文』

総会議事終了後において、日本酪農政治連盟福島県支部連合会の佐藤 弘永 幹事長から「T P P 交渉に関する決議分」を読み上げられ、決議されました。

総会終了後の第3回理事会、第1回監事会において新役員体制が決まりました。

役 職	役員名	所 属	住 所
代表理事組合長	宗 像 実 勝	県 中	郡 山 市 中 田 町
副組合長理事	安 齋 利 勝	県 北	福 島 市 飯 野 町
常 務 理 事	岡 正 宏	学 経	福 島 市 森 合
理 事	大 竹 芳 雄	県 南	石 川 郡 古 殿 町
理 事	阿 部 弘	県 南	西 白 河 郡 西 郷 村
理 事	會 田 義 久	学 経	い わ き 市 川 前 町
理 事	紺 野 宏	浜	双 葉 郡 浪 江 町
理 事	石 井 正 美	県 中	田 村 市 船 引 町
理 事	杉 和 昌	浜	南 相 馬 市 原 町 区
理 事	佐 原 洋 一 郎	県 北	安 達 郡 大 玉 村
代 表 監 事	木 目 澤 次 男	県 南	西 白 河 郡 泉 崎 村
監 事	白 土 中	県 中	田 村 市 滝 根 町
監 事	黒 沢 寛 寿	県 北	福 島 市 飯 野 町
監 事	田 中 一 正	学 経	相 馬 郡 飯 館 村

役員新体制、決意新たに



新代表理事組合長に、宗像 実 氏、就任
新副組合長理事に、安齋利勝 氏、就任



平成二十七年七月十六日（木）、福島県農業総合センターに於いて第五十四回福島県獣医畜産技術総合研究発表会が開催されました。本組合からは、六月二十三日に行われた職員業績発表大会で選ばれた泉巧指導員、小代具毅獣医師、野口広太郎獣医師（いずれも県南酪農指導所）の三名が発表しました。

発表会では一二名が発表し、獣医畜産の部では、福島県内で最も広範囲の遊休農地を集約耕作化に向けた事例報告の「遊休農地を利用した作付けに向けての事例紹介」を泉が発表しました。

臨床獣医の部では、カリ施肥過剰牧草給与による分娩後起立不能症多発例である「高濃度カリウム飼料多給に伴うDCS多発事例」を小代が発表し、アレルギー性を疑う非炎症性の瘤が体表に発生した特殊症例である「体表に腫瘤を形成した牛の一症例」を野口が発表

県南酪農指導所小代獣医師

平成二十七年度

東北地区学会での発表決定

第五十四回福島県獣医畜産技術

総合研究発表会

表しました。

審査の結果、小代獣医師の発表は、放射性物質の農地除染を行っている福島県に於ける現在の特異な状況を反映した症例報告であり、除染による事例報告とともに現在の福島県の状況報告を多くの獣医師に伝える必要があるとの多くの意見から、全葉賞に輝き、平成二十七年十月八日（木）～九日（金）に岩手県盛岡市で開催される平成二十七年度獣医学術東北地区学会日本産業動物獣医学会（東北地区）での発表演題に選出されました。

小代獣医師の発表は、平成二十七年八月二十七日（木）～二十八日（金）に東北大学で行われる第六十五回東北畜産学会での発表演題にも推挙されており、東北に於ける獣医畜産両部門の学会で発表することとなりました。

平成26年度 表彰者

1. 平成26年度購買事業系統利用上位組合員の表彰

- 1) 表彰基準 年間利用高1,200万円以上
- 2) 表彰者 69名 (代表 県北支所 (有)サトーフาร์ม)

■県北支所 (19)

高橋 邦弘	特非 FAR-Net	浪岡 泰博
(有)サトーフาร์ม	黒沢 寛寿	阿部 克男
安斎 洋志	斉藤 哲男	嶋原 武夫
菅野 勝宣	土屋 直孝	菅野庄市郎
武藤 健之	遠藤 正孝	渡辺 裕市
鈴木 敏之	三瓶 忠信	菅野 栄幸
渡辺 正衛		

■県中支所 (20)

植田 保平	宗像 実	芳賀 義春
大橋 新	橋本 幸治	遠藤善一郎
後藤 信義	後藤 清	菅家 信孝
鈴木 新	目黒 啓太	小林 知史
本田 俊幸	安藤 宗治	澤田 実
足利 秀忠	今泉 孝一	橋本 浩幸
梅沢 正男	(有)中山牧場	

■浜支所 (5)

柚原 友加津	鈴木 高志	井出 淳
(株)T・ユニオンデーリイ	(有)いわき中央牧場	

■県南支所 (25)

山田 英司	二瓶 文夫	小豆畑正一
添田 勉	矢内 利幸	岩谷 金良
堀江 岩男	(有)グリーンサブナラ	
中瀬 信治	関根 功男	円谷 勝幸
坂本 好功	佐藤 勝	伊藤 雄治
小沢 正	今井 修一	塩川 道郎
関矢 大輔	独古 利光	鈴木 一正
木目澤次男	鈴木 正隆	高橋喜一郎
雪割牧場(有)	須藤 政美	

2. 平成26年度せり市場販売価格上位組合員の表彰

- 1) 表彰基準
 - ① 年間販売額が最上位の組合員
 - ② 種畜別で年間販売平均価格が最上位の組合員
 - ▼乳用牛 (スモール) : 年間7頭以上販売
 - ▼F 1 (スモール) : 年間10頭以上販売
 - ▼和牛ET (スモール) : 年間3頭以上販売
- 2) 表彰者
 - ① 年間販売額が最上位の組合員
県南支所 雪割牧場(有)



② 種畜別で年間販売平均価格が最上位の組員

(3名 代表 県南支所 塩川 道郎)

▼乳用牛(スモール) 塩川 道郎 県南支所

▼F 1 (スモール) 安藤 宗治 県中支所

▼和牛ET(スモール) 大和田喜良 県中支所

3. 平成26年度乳質改善優良組員並びに支所の表彰

1) 表彰基準

組員はチェックシート1及び生産現場1～3の7項目で6個以上「○」であり、同時に体細胞・細菌数の衛生的乳質得点で各40点以上。

(ただし、期間中に乳質出荷停止がないこと。公共は除く)

支所表彰は組員の表彰者の平均得点で最も高得点とする。

2) 表彰者 14名

最優秀賞 浜支所 (有)いわき中央牧場 98.0

氏 名	支 所	得 点
1. (有)いわき中央牧場	浜 支 所	98.0
2. 橋 本 浩 幸	県中支所	96.13
3. 熊 谷 福 夫	県南支所	95.44
4. 梅 沢 正 男	県中支所	93.63
5. 佐 藤 勝	県南支所	93.34
6. 渡 辺 治 彦	県中支所	91.28
7. 先 崎 貞 臣	県中支所	91.20
8. 特非 FAR-Net	県北支所	90.91
9. 根 本 高 幸	県中支所	90.35
10. 浪 岡 泰 博	県北支所	90.34
11. 福 田 正 幸	県中支所	89.47
12. 宗 像 実	県中支所	89.16
13. 陣野原 進	県中支所	88.31
14. 白 岩 俊一郎	県中支所	85.19
最優秀支所 浜支所	平均得点	98.0

4. 特別表彰

1) 第44回酪農発表大会(東北酪農青年婦人会義主催)

意見・体験発表の部 委員長賞

県南酪農研究会 二 瓶 智 美

2) 第55回福島県農業賞(農業経営改善部門)

県北支所 安 齋 利 勝・美智子

5. 職員永年勤続表彰 5名

(代表 渡部 志朗)

1) 35年勤続 (2名)

渡部 志朗 根津 光夫

2) 30年勤続 (2名)

阿部 克典 高橋 章哲

3) 25年勤続 (1名)

生田目克己



第46回

福島県酪農協職員業績発表大会を開催



六月二十三日（水）福島

県酪農業協同組合会議室にて、第四十六回福島県酪農協職員業績発表大会が開催されました。

本組合職員の技術研鑽並びに情報交流を図るため、日常の間にを行った業務について、発表し、

組合員の負託に応えるとともに、酪農振興に寄与することを目的に行われ、審査員に福島県酪農業総合センター畜産研究所酪農科長 小田康典氏、日本全業工業（株）中央研究所研究開発センター 味戸忠春氏をお招きして開催されました。

はじめに、但野組合長より、「発表者が日頃の業務の中か



ら題材を見つけ、発表の内容や情報を共有していくながら、組合員のためにより積極的な仕事に取り組んでほしい。」挨拶を頂き、発表に入りました。

第一部は、畜産技術並

びに獣医畜産に関することに六名、獣医診断治療等の獣医技術に関することに二名、第二部は、酪農家の生活向上・経営向上等に関することに五名の二部制にて実施し、審査員、参加者より、質問や活発な意見交換も行われ、今後、ますます、発表者の皆様のご活躍を期待しております。



第46回 職員業績発表大会発表者

平成27年6月23日(火)

福島県酪農協 会議室

部	褒賞	所 属	発表者	テ ー マ
第一部	最優秀賞	県南酪農指導所	泉 巧	遊休農地を利用した作付に向けての事例紹介
	優 秀 賞	県北酪農指導所	平尾 修	税務申告から見た農家経営状況の推移
	優 秀 賞	県南酪農指導所	小代 具毅	高濃度カリウム飼料多給に伴うDCS多発事例
	優 良 賞	県北酪農指導所	三浦 愛美	県南支所管内の自給飼料検査・利用状況について
	優 良 賞	県南酪農指導所	甲斐 響	高体細胞数農家に対する乳質改善指導
	優 良 賞	県南酪農指導所	安斎 明德	フィードラッパー導入後の発酵TMR飼料の現状と課題について
	優 良 賞	県南酪農指導所	小島 宏文	哺乳ロボット牛舎の疾病発生要因
	優 良 賞	県南酪農指導所	野口広太郎	体表に腫瘤を形成した牛の一症例
第二部	優 秀 賞	県北支所生産課	鈴木 守一	県北地域における牛乳乳製品の風評被害払拭と消費拡大対策の推進
	優 良 賞	生産部購買畜産課	鈴木 俊太	混合飼料原料の特徴
	優 良 賞	県南支所生産課	目黒 裕佳	県南地域における農家の輸入乾草に対する嗜好性について
	優 良 賞	県北酪農指導所	三横 孝弘	県北管内の血統登録の事故照会について
	優 良 賞	管理部経営管理課	横山 良征	～チャレンジふくしま若い力による風評対策提案事業～に応募してみました。



乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2015年5月現在

区 分	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
組合／支所	戸数	前年度 戸 数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度 頭 数	前年比	1 戸当 り頭数
						乾乳 妊娠	妊娠 搾乳	空胎 搾乳	小計				
	戸	戸	%	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	%	頭
県 北 支 所	24	27	88.9	284	81	83	233	435	751	1,116	1,152	96.9	46.5
安 達 事 業 所	22	23	95.7	119	62	56	144	250	450	631	645	97.8	28.7
県 中 支 所	31	34	91.2	166	74	79	211	484	774	1,014	1,071	94.7	32.7
田 村 事 業 所	28	31	90.3	34	11	21	72	204	297	342	379	90.2	12.2
浜 支 所	11	15	73.3	72	33	22	76	146	244	349	408	85.5	31.7
小 野 事 業 所	29	29	100	62	31	43	127	242	412	505	538	93.9	17.4
会 津 事 業 所	9	9	100	71	23	31	80	115	226	320	317	100.9	35.6
県 南 支 所	59	60	98.3	696	329	335	710	1,183	2,228	3,253	3,179	102.3	55.1
JAそうま飯館総合支店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県 酪	213	228	93.4	1,504	644	670	1,653	3,059	5,382	7,530	7,689	97.9	35.4

区 分	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
組合／支所	2015 6月	2015 7月	2015 8月	2015 9月	2015 10月	2015 11月	2015 12月	牛乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	戸	kg	kg	kg	kg
県 北 支 所	52	41	63	58	72	48	63	24	18,129	755	27.1	24.1
安 達 事 業 所	40	23	34	38	37	42	48	22	11,083	504	28.1	24.6
県 中 支 所	37	53	45	58	47	44	80	31	18,741	605	27.0	24.2
田 村 事 業 所	15	8	16	18	15	16	16	27	6,401	237	23.2	21.6
浜 支 所	15	18	27	15	18	14	24	9	5,975	664	26.9	24.5
小 野 事 業 所	26	22	32	33	30	25	33	28	9,456	338	25.6	23.0
会 津 事 業 所	10	24	17	30	21	17	15	9	4,894	544	25.1	21.7
県 南 支 所	171	195	194	167	216	180	251	59	56,031	950	29.6	25.1
JAそうま飯館総合支店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県 酪	366	384	428	417	456	386	530	209	130,710	625	27.7	24.3

平成27年度受託乳量の状況

平成27年5月の受託乳量は、県全体で前年比96.1%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が4,061トンの対前年比97.0%（対前年同月124トン減）と下回り、全農県本部は2,194トンの対前年比94.5%（対前年同月129トン

減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託実績については、前年比97.9%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比99.9%であります。（北海道：100.9%、都府県：98.8%）

平成27年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

5月の東北全体での用途別販売状況については受託乳量が97.9%の中で、醗酵乳向けが前年比124.0%（全国の前年比106.4%）と前年を上回り、飲用向けは前年比98.3%（全国の前年比100.9%）、加工向けは前年比80.6%（全国の前年比101.1%）、学乳向け

が前値日比89.1%、生クリーム向けは85.9%（全国の前年比98.6%）と前年を下回り推移した。

なお、今月の当組合酪王乳業での生乳使用量は日量平均48.2トンで、本組合生産量の36.8%、県全体生産量の23.9%となっております。

平成27年度月別支払乳価表

5月分支払乳価については、4月より飲用向け＋3円（学乳向けも含む）、醗酵乳等向け＋3円値上げされ、また北海道の価格交渉結果に準じて加工向け＋2円、生クリーム向け＋3円、チーズ向け＋5円と全用途について価格改定がされ、プール乳価が3円95銭前年より上回り、補給金単価は前年を26銭下回り、差引前年より3円69銭上回る単価となりました。

（東北全体5月）

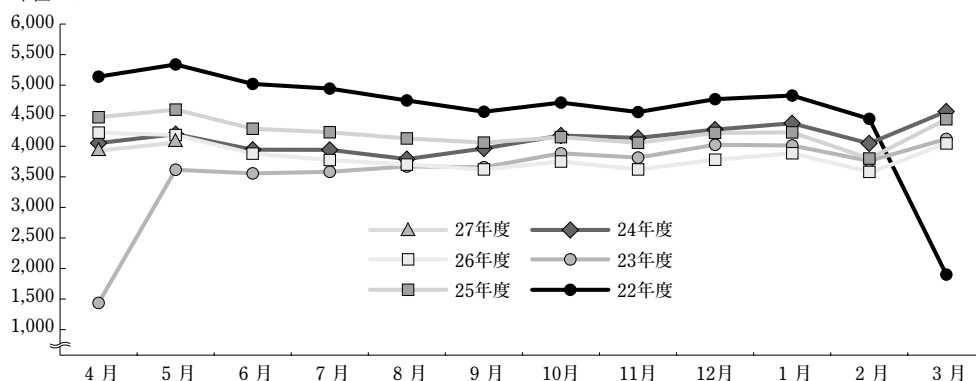
用 途 別	販売乳量 (トン)	日 量 (トン)	前年比 (%)
飲 用 向 け	31,849	1,027.0	98.3
加 工 向 け	4,864	157.0	80.6
学校給食向け	2,615	84.0	89.1
醗 酵 乳 向 け	6,927	223.0	124.0
生クリーム向け	1,714	55.0	85.9
チ ー ズ 向 け	252	8.0	84.7
全乳哺育向け	1	0.0	103.3
合 計	48,222	1,554.0	97.9

備考 1) 買取乳量を除く

月別受託乳量 県酪協（トン）

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22年度	5,140	5,322	5,018	4,944	4,753	4,566	4,714	4,560	4,764	4,829	4,445	1,899	54,954
23年度	1,436	3,614	3,544	3,581	3,669	3,656	3,874	3,815	4,030	4,012	3,759	4,118	43,108
24年度	4,052	4,200	3,943	3,913	3,790	3,964	4,178	4,110	4,273	4,373	4,054	4,569	49,419
25年度	4,476	4,605	4,287	4,231	4,129	4,062	4,149	4,053	4,219	4,276	3,807	4,343	50,637
26年度	4,148	4,185	3,879	3,775	3,703	3,621	3,749	3,620	3,781	3,886	3,577	4,035	45,959
27年度	3,921	4,061											3,921
前年比%	94.5	97.0											94.5

単位・トン



年次別・月別支払乳価一覧（補給金を含む）

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	105.116	105.882											17.583
26年度	100.739	102.193	103.829	102.826	101.978	104.278	104.043	104.000	102.000	102.606	103.222	101.321	102.753
25年度	96.846	98.345	99.659	98.837	97.220	99.688	102.698	102.627	100.215	100.738	101.861	99.542	99.856
24年度	96.446	97.780	99.371	98.530	97.817	100.446	99.772	99.452	97.324	97.231	97.699	95.806	98.140
23年度	99.914	99.451	100.687	98.681	97.352	100.084	100.031	100.068	97.842	97.702	98.902	96.546	98.938
22年度	95.470	96.612	99.662	98.706	97.147	101.210	99.707	99.740	95.378	95.235	96.682	96.793	97.695

第236回 県酪協乳牛市場成績

平成27年 6月12日開催

購買者数 34名 (うち県外11名)

区分	畜種	雌雄	成 立 数 (成 立 率)	最 高 価 格 最 低 価 格	平 均 価 格 (前 回 比)	平 均 体 重 (前 回 比)	平 均 単 価 (前 回 比)
ET和牛 初 生 牛	ET和牛	メス	3 (100)	435,000 418,000	428,667 (115)	87 (109)	4,946 (107)
		雄	25 (100)	492,000 174,000	443,160 (103)	97 (104)	4,582 (98)
	乳 牛	メス	2 (100)	60,000 58,000	59,000 (127)	61 (98)	967 (130)
		雄	60 (100)	143,000 21,000	107,367 (167)	71 (104)	1,506 (160)
	交 雑 牛	メス	69 (97)	277,000 143,000	216,754 (123)	72 (107)	2,992 (114)
		雄	88 (100)	285,000 164,000	257,330 (114)	78 (104)	3,315 (110)
初 任 牛			19 (100)	729,000 451,000	569,211 (117)		
搾乳用雌子牛			9 (100)	318,000 220,000	256,889 (111)		

価格：円(落札価格) 率・比：％ 体重：kg

初生牛の畜種別価格帯每分布表

(0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です)

畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																													
		17	～	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50				
ET和牛	メス																	1		2											
	雄	1															1		3	6			3	2	5	3	1				
畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																													
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25				
乳 牛	メス						1	1																							
	雄			1	2			2	2	7	4	10	9	5	16	2															
畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																													
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29				
交雑牛	メス												1	3	1	1	3	6	9	14	12	4	7	3	3	2					
	雄													1			2	1	1		3	12	24	19	24	1					

初妊牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表

価格帯 (万円)	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	~	72	73	74
初妊牛	1			2	1	1		1		2		3			2	1	2					2		1		
価格帯 (万円)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
搾乳用雌子牛													2			2	1	1	1		1	1				

組合の動き 6月

6月1日 F D24会役員会
 6月1日 東北生乳販連理事会
 6月2日 県中支所座談会
 6月3日 県北支所座談会
 6月4日 県南支所座談会
 6月5日 浜支所座談会
 6月9日 福島県畜産振興協会監査

6月10日 福島県畜産振興協会理事会
 6月11日 福島県酪農ヘルパー協会幹事会
 6月11日 全酪連理事会
 6月12日 セリ市場
 6月12日 福島県農業会議常任会議員会議
 6月13日 も～も～スクール(会津美里町立高田小学校)

組 合 の 動 き 6 月

6月15日	福島県酪農ヘルパー協会通常総会
6月16日	福島県牛乳普及協会理事会・総会
6月17日	酪王乳業（株）取締役会
6月18日	Jミルク27年度定時総会
6月19日	東北生乳販連事業推進委員会
6月19日	浜支所運営委員会
6月19日	日本ホルスタイン登録協会総会・理事会
6月20日	酪王カフェオレファンの集いin秋葉原 2015
6月21日	T P P 交渉における国会決議の実現に 向けた福島県民集会
6月22日	全国酪農協会役員会・通常総会
6月23日	職員業績発表大会
6月24日	福島県農業団体災害対策本部総会
6月25日	福島県酪農協第22回通常総会
6月25日	第3回理事会
6月25日	監事会
6月25日	酪王乳業（株）総会・取締役会
6月25日	（株）らくのう乳販総会・取締役会
6月29日	福島畜産振興協会通常総会
6月30日	第3回経営検討会
6月30日	第3回再建検討委員会
6月30日	三役・委員長合同会議

理 事 会

第3回 6月25日

議 案

- 議案第1号 組合長及び代表理事の選任について
- 議案第2号 副組合長の選任について
- 議案第3号 常務理事の選任について
- 議案第4号 理事会招集者の順位について
- 議案第5号 管理委員会並びに生産委員会委員の選任について
- 議案第6号 酪王乳業株式会社の取締役の推薦について
- 議案第7号 株式会社らくのう乳販の取締役の推薦について
- 議案第8号 関係団体役員並びに関係委員会委員の選任について
- 議案第9号 理事報酬額の個人別決定について
- 議案第10号 退任理事に対する役員退職慰労金の個人別決定について

報告事項

- 1) 今後の日程について

全酪連の小窓 第52回

時下、酪農家の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

農道を走っているとデントコーンが立ち並ぶ姿を目にする季節となりました。数週間後には刈取りが始まりますね。そこで今回はなるべく刈取りに備え、一足先にデントコーンサイレージの作り方についてのポイントをご紹介します。

○刈取り適期に収穫を行いましょう

デントコーンの刈取りは黄熟期に行いましょう。この時期はT D N収量・乾物収量ともに最大となり、飼料価値が最も高くなります。※図1参照

では、黄熟期のデントコーンの目視判断基準はどのようなものでしょうか？

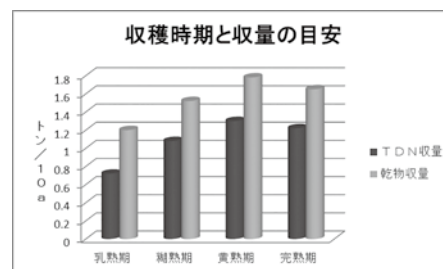


図1

黄熟期の目安

- ①ミルクライン(黄色部と白色部の境目)が子実の半分に達したとき (図2太線部)
 - ・圃場の端側の株は、生育状況が内側の株よりも進んでいる傾向がありますので、観察は内側の株を用いて行ってください
 - ・子実の先端側を観察してください
- ②ブラックレイヤーが3粒に1粒程度見られる (図2点部)
 - ・ブラックレイヤーとは図2の点部に現れる黒い点のことを言います
- ③出穂から約40～50日後 ※RMが高いほど日数が長い
- ④実に爪を立て潰したとき、若干くぼむ程度

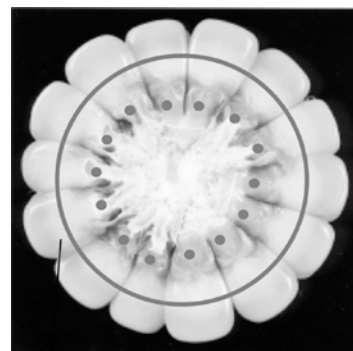


図2

これらのポイントを鑑み、総合的に判断し刈取りを行うことをお勧め致します。

- ポイントを抑えた適正な調整を行いましょう
刈取り後、下記の点に気を付けてください。

①水分調整

- サイロの場合は70%前後、ロールの場合は40～60%が推奨されています
- ・排汁によるエネルギー損失が最も少ない
 - ・酪酸発酵の抑止効果
 - ・高水分の場合は、水分調整剤としてビート等が利用できます。また、ビートには糖が含まれるため乳酸菌の栄養にもなります。

②嫌気状態の速やかな確保

嫌気状態を確保することで、雑菌の増殖を抑止し、乳酸発酵(嫌気発酵)を促します。

※嫌気状態とは酸素がない(空気がない)状態

- ・酸素がないと生育できない…好気性菌
- ・酸素がなくても生育できる…嫌気性菌(乳酸菌も嫌気性菌に含まれる)

- 細切 : 切断長1.2cm前後でシャープな切断
⇒高い密度での保存を可能にし、且つ、反芻回数も確保できる
- 踏圧 : 700kg/m³以上の詰め込み
⇒嫌気状態の確保
- 早期密封: 少しでも早く空気との接触を断つ
⇒好気発酵を長引かせない

○まとめ

これまでの留意点を簡単にまとめますと以下の2点となります。

黄熟期にて刈り取る：飼料価値を最大限に引き出す

適正な調整を行う：良質発酵(乳酸発酵)を促す

収穫と調整は良質なサイレージを作る上で重要な詰めの作業でございます。今回の記事を少しでも参考にしてください。

尚、全酪連では、サイレージ調整用乳酸菌としてサイプロラクトシリーズを取り扱っております。乳酸菌はサイレージの良質な発酵を補助する役割を果たします。ご要望の際は、各支所・事業所および全酪連スタッフまでご連絡下さい。

バイエル子牛の健康講座 おしえて！ウッシー先生③

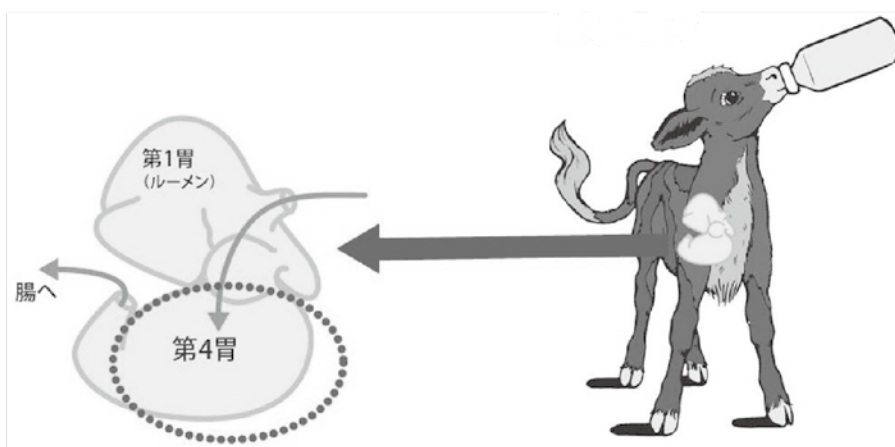
今月の話題は「初乳のカード形成」についてです。

前回、牛の体を守るガードマン部隊である免疫グロブリンは初乳にたくさん含まれている、というお話をしました。免疫グロブリンは牛の体内に入った病原体を見つけて排除したり、病原体が悪さをしないように防御しています。

免疫グロブリンがきちんと吸収されるために欠かせないことが“カード”形成なのです。



生まれたばかりの子牛は胃や腸の消化吸収能力がとても低く、第1胃(ルーメン)はまだ未熟です。ですから初乳はまず第4胃に入って、そこで“カード”というチーズのような塊になってからゆっくりとタンパク質や脂肪を消化していきます。初乳が“カード”になるときに



じわじわと免疫グロブリンが染み出てきて、腸に流れて吸収されるのです。

つまり、しっかり“カード”ができないと、免疫グロブリンの吸収も悪くなってしまうということです。子牛が病気になってしまう要因のひとつとして、免疫グロブリンの吸収率低下が考えられます。

右の写真をご覧ください。これは初乳 100%をそのまま粉末にした製品でカードを作る実験を行ったときの結果です。材料は初乳そのものですので、当然しっかりとカードができています。



初乳製品は数多くありますが、やはり材料は「初乳そのまま」であることが重要ですね！

今月も最後までお読み下さりありがとうございました。



バイエル薬品株式会社

動物用薬品事業部

〒981-3133

仙台市泉区泉中央 1-14-1 インテレクト 21

TEL (022)776-0271

Point

暑熱対策のポイント

1

牛体からの放熱の促進に努めましょう！



毛刈りをする。

（全体の毛刈りが無理な場合は、腹部（乳房まわり）などを毛刈りする。牛床のクッション性の確保など牛の快適性を改善する。）

牛体を冷やす。

（牛に風が当たるようにし、体感温度を下げる。また、シャワーなどを利用して牛体を冷やす。）

牛舎内の温度上昇防止と

湿気とアンモニアの排出に心がけましょう！

2

牛舎の風通しを良くする。

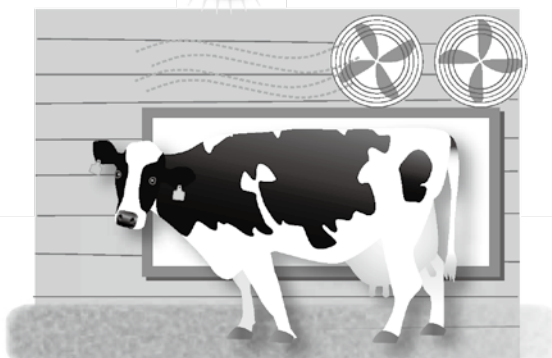
（窓の開放、壁に開口部の設置、障害物の撤去、密飼いをしない。）

屋根を断熱、冷却する。直射日光を遮る。

（屋根を白く塗装（石灰塗布など）、屋根への散水、スプリンクラーを設置する。日除け・ひさし（つる性の植物を植えて緑のカーテンを作るなど）を設置する。）

給水器を点検する。

（飲み水が不足しないよう水压を確保する。水槽を清掃し、清潔な水を供給する。）



3

飼料摂取量の減少防止と 不足栄養分を補給しましょう！



新鮮な水を十分に給与する。

品質の良い粗飼料を給与する。

（消化の良い粗飼料を十分に給与し、牛体から発生する熱をおさえる。また、涼しい時間帯に給与する。）

飼料の変敗を防止する。

（飼料の適正管理、飼槽を清掃する。）

塩分、重曹などミネラル等を補給する。

参考：全国酪農業協同組合連合会「COWBELL 120号」

暑い夏を牛乳でのりきろう！

牛乳は「熱中症」を防いでくれる強い味方です！



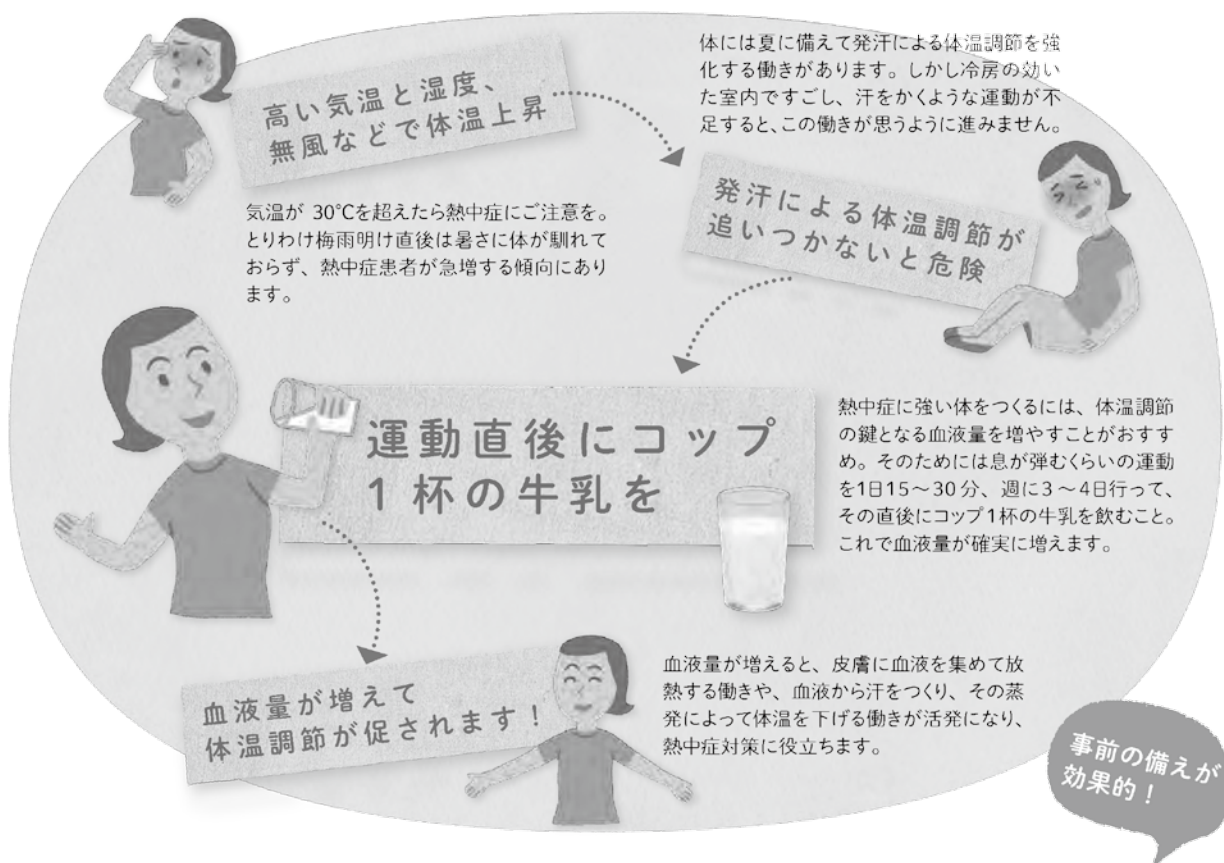
カルシウム だけじゃない 牛乳パワー

たんぱく質、脂質、糖質の3大栄養素を含む牛乳。理想的な栄養バランスで、健康な体づくりをサポートします。



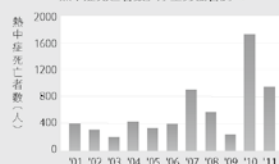


炎天下の外出や運動の直後に 牛乳を飲みましょう

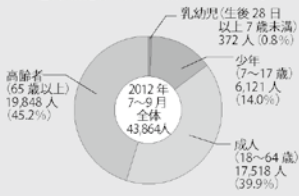


監修／信州大学大学院医学系研究科教授 能勢 博

●熱中症で亡くなる人は増加傾向 「熱中症死者数」厚生労働省調べ



●特に高齢者は熱中症にご用心 「熱中症救急搬送者の年代別構成」総務省消防庁調べ



この「運動＋牛乳」の組み合わせは、熱中症にかかりやすい子どもと高齢者にも有効です。子どもは汗腺が未発達なので1回の運動を15～30分にとどめ、休憩をしっかりととりましょう。また高齢者にとって「ややきつい運動」を継続するのは難しいので、早歩きとゆっくり歩きを3分間ずつ交互に行う「インターバル歩」を取り入れるとよいでしょう。

温暖化の影響やヒートアイランド現象などで、35℃を超える猛暑が珍しくなくなりました。この暑さで心配なのが熱中症です。暑さに強い体をつくるためには、夏到来前の5月～6月に、「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる運動を1日15分～30分間実施しましょう。さらに運動の直後にたんぱく質と糖質を多く含む牛乳を摂取すると、血液量が増加して熱中症リスクを効果的に下げることができます。

真夏になる前に
熱中症に強い体を作ろう



一般社団法人 Jミルク
<http://www.j-milk.jp/>



1305

第22回

毎日飲むから元気で
福島の牛乳

ふくしま酪農まつり

～緑の牧場とフレッシュミルク～

入場
無料

2015

8/30

時間 10:00▶15:00

場所 とうほう・みんなの
スタジアム前広場
(あづま総合運動公園内)

小雨
来行!!



- ・搾乳体験 (10:30~11:30) (13:30~14:30)
- ・乳搾り大会 (10:15~11:15) (13:30~14:30)
- ・仔牛ふれあい園
- ・牛乳早飲み競争 (11:30~12:30)

酪農体験
コーナー

- ・酪王牛乳パック帽子作り
- ・骨密度測定



イベント
スケッチコンテスト
(酪農情報館)



- ・なみえ焼きそば・ポップコーン
- ・焼き鳥・おにぎり・クレープ



- ・バター作り
- ・ソフトアイス



- ・炭火焼肉

イラストはイメージです。

主催：福島県酪農業協同組合 主管：福島県酪農業協同組合県北支所
後援：福島県、福島市、全国酪農協会、全国酪農業協同組合連合会

お問い合わせ

開催前日迄 024-565-2448 (県酪農協県北支所)

当日 080-1669-6409 (ふくしま酪農まつり実行委員会事務局)



〒960-2158 福島県福島市佐原天神事場1番地
☎ 024-593-1111

平成26年度 牛乳・乳製品利用料理コンクール 福島県大会入賞レシピ



会津棒たら煮とかんぱらのクリーミーグラタン

福島県立川口高等学校
遠藤 陽奈さんの作品



材 料

(材料:4人分)

- | | |
|---------------------|----------------|
| ・棒たら煮 …………… 120g | ・とろけるチーズ …… 適量 |
| ・じゃがいも(中) …… 3個 | ・厚切りベーコン …… 2枚 |
| ・玉ねぎ(小) …… 1個 | ・黒こしょう …… 少々 |
| ・牛乳 …………… 400ml | ・塩 …………… 少々 |
| ・生クリーム(動物性) … 100ml | ・パセリ …………… 少々 |
| ・バター(有塩) …… 32g | |

●作り方

- ① オーブンを150℃に設定し、予熱しておく。グラタン皿にバター(8g)を塗っておく。玉ねぎは薄切り、じゃがいもは一口大、ベーコンは1cmに切っておく。
- ② 鍋にバター(24g)を溶かし、玉ねぎが透き通るまで炒める。
- ③ ②にベーコンとじゃがいもを加え、炒める。
- ④ ③に牛乳と生クリームを加え、じゃがいもがやわらかくなるまで混ぜ合わせる。

- ⑤ ④に棒たら煮を加え、かるく沸騰したら火を止め、塩で味を整える。
- ⑥ 器に盛り、とろけるチーズをのせ170℃のオーブンで20分間焼く。
- ⑦ 火傷に気をつけながら、オーブンから取り出し、黒こしょう、パセリをふりかけて完成。

ポイント

棒たら煮を加えるので、塩見はお好みで。

～とろ～りヨーグルトとみずみずしい果汁ゼリーを 同時に楽しめる新食感スイーツが新発売♪～

とろ～りヨーグルトとみずみずしい果汁ゼリーを同時に楽しめる新食感スイーツです。

ゼリー部分には「マンゴーの王様」と呼ばれるインド産のアルフォンソマンゴーを使用し、芳醇な味わいをギュッと閉じ込めました。

ヨーグルト部分は、酪農乳業の人気商品「生乳たっぷり飲むヨーグルト」を使用し、濃厚な味わいと程よい酸味が、フルーツとの相性も抜群です。

振って容器内のゼリーをお好みの大きさに砕いてからストローでお召し上がりください。



《酪王 マンゴーゼリー＆ヨーグルト 180g》

発売日 7月27日(月)より、新発売
価格 155円(税別)

『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由(ほっと(^o^))する話題がいいですね
◎文章だけでも結構です。
◎写真があると最高です。

2. 受付(常時受け付けしています)

メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。

E-mail: hiro-watanabe@fukuraku.or.jp・FAX0243-33-1103

発行者 福島県酪農協同組合
発行責任者 常務理事 岡 正宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地
TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103
URL <http://www.fukuraku.or.jp/>